

新規低分子抗HIV活性化化合物を創出——東京医科歯科大学

東京医科歯科大学はこのほど、抗ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に対する新規低分子抗HIV活性化化合物を創出したと発表した。化合物は、HIVのRNAを包み込む殻を形成するカプシド（CA）をターゲットとするもので、HIVの複製を抑制する働きが期待できるという。研究グループは、このCAタンパク質は世界の99.999%の流行株に変異が認められないことから、今回の成果が変異ウイルス株を生じにくい抗薬剤耐性HIV剤の創製研究に繋がるとの期待感を示している。